

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	解剖生理学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年		学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	田中 研志	実務経験と その関連資格	急性期脳外科病院、国立病院機構で従事			
《授業科目における学習内容》						
自己の身体アライメントを測定する(脚長差ほか)。 アライメントと重心動揺偏倚との関連を考察する。						
《成績評価の方法と基準》						
課題レポートで評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料 レジュメ						
《授業外における学習方法》						
運動学の復習を兼ねて授業をする。運動学で使用している教科書で復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
受身にならず、積極的に学んで欲しい。復習を主にしていきたいと考える。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	臥位アライメントの評価方法を知る		運動学教科書 配布資料	運動学の復習	
	各コマに おける 授業予定	臥位アライメントを評価する。脚長差の有無を確認する				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	両脚立位姿勢における姿勢アライメントの評価方法を知る		運動学教科書 配布資料	運動学の復習	
	各コマに おける 授業予定	両脚立位姿勢における姿勢アライメントについて評価する				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	立位・臥位アライメントの違いについて知る		運動学教科書 配布資料	運動学の復習	
	各コマに おける 授業予定	立位アライメントと臥位アライメントとの関連性を探る				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	立位・臥位アライメントの違いについて考察できる		運動学教科書 配布資料	運動学の復習	
	各コマに おける 授業予定	立位アライメントと臥位アライメントとの関連性を探る				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	片脚立位でのアライメントについて考察し、説明できる		運動学教科書 配布資料	運動学の復習	
	各コマに おける 授業予定	片脚立位でのアライメントを評価する				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	両脚立位から片脚立位への動作特性を知る	運動学教科書 配布資料	運動学の復習
	各コマにおける授業予定	両脚立位から片脚立位への動作特性を探る		
第7回	授業を通じての到達目標	両脚立位から片脚立位への動作特性について考察できる	運動学教科書 配布資料	運動学の復習
	各コマにおける授業予定	両脚立位から片脚立位への動作における重心動揺変化を評価する		
第8回	授業を通じての到達目標	学習した内容を文章で纏め表現できる	運動学教科書 配布資料	運動学の復習
	各コマにおける授業予定	アライメントと重心動揺偏倚との関連を総合的に考察し、レポートに纏める		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			